

少年棋士、将棋で県大会優勝！ 木村亮汰君が西日本大会へ



2月19日(日)に守山市エルセンターで第42回さなる杯小学生将棋名人戦滋賀県大会が開催され、新旭北小学校5年生の木村 亮汰君が優勝しました。優勝した木村君は滋賀県代表として3月11日(土)、12日(日)に関西将棋会館で行われた西日本大会に出場されました。

木村君は、毎週末に草津や大津まで練習に通いながら3年前から同県大会に出場しており、3回目の挑戦となる今年は、前夜寝ることができないほどの緊張の中でトーナメント5戦を全勝し、見事優勝を勝ち取りました。(秘書広報課)

風と土の交響^{げい}2017 手仕事作家の工房を巡る

2月24日(金)から26日(日)までと3月3日(金)から5日(日)まで、風と土の交響2017が行われました。このイベントは、高島市内に拠点を持つ手しごと作家(工芸・農業・古民家再生など)たちの工房や住まい、現場など”暮らし”をめぐる、オープンアトリエ型の催しで、市内全域で40名以上の作家が参加されました。普段見ることのできない工房を見ようと、多くの来場者が各地を訪れ、作家と交流されました。(秘書広報課)



新旭町の鍛冶屋で鍛冶体験をされる来場者

15人の選手・監督 国体にスキー競技で出場！

2月14日(火)から17日(金)まで長野県で開催された第72回国民体育大会冬季大会に高島市から15人の選手や監督が出場されました。(市民スポーツ課) ※敬称略

種目	種別	氏名	勤務先・学校名等
ジャイアントスラローム	成男A	夏目 雄大	(公財) 滋賀県体育協会
	少女	坂口 未祐	高島高校 3年
クロスカントリー	監督	野崎 吉雄	(福) 湖北会湖北まこも
	成男A	平山 喜久	京都産業大学 4年
		和田 健吾	高島市役所
	成男C	伊藤 朋一	高島市役所
	少男	福田 樹	高島高校 3年
		小林 大晋	高島高校 2年
		齊藤 颯	高島高校 3年
		村上 和馬	高島高校 2年
	少女	齊藤 兆	高島高校 1年
		太田 小雪	高島高校 2年
		太田 舞	今津中学校 3年
		志村 咲季	安曇川中学校 3年
三宅 澄夏		安曇川中学校 3年	

テレマークスキーワールドカップ出場 廣瀬選手が世界の舞台へ

市長を表敬訪問されテレマークスキーの魅力語る廣瀬さん



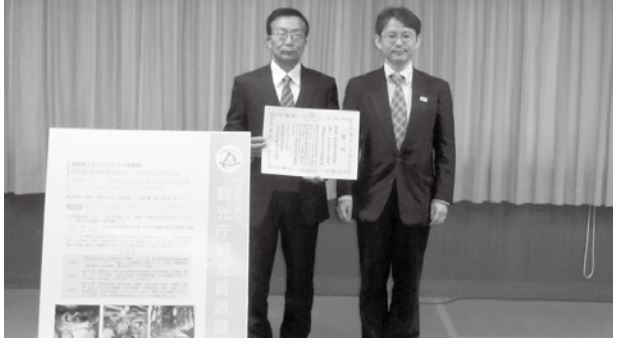
高島市在住で、朽木じゃっぴーSC所属の廣瀬航平さんが、2月24日(金)からノルウェーで開催されたテレマークスキーワールドカップに出場されました。

廣瀬選手は幼いころから朽木スキー場で練習され、アルペン競技ではインターハイや国体にも出場された経験をお持ちです。現代のスキーの原型といわれるテレマークスキーを始められたのは大学生になってからで、短期間のうちに国内選考を突破する実力を身に付けられました。今後ご活躍をお祈りします。(秘書広報課)

湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部 体験ツアーコンテストで受賞

「湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部」が、国土交通省が募集した全国の水の里の観光資源を活用した旅の企画「水のめぐみ」とふれあう水の里の旅コンテスト2016において、観光庁観光資源課長賞を受賞されました。

同倶楽部は、長年、体験活動を通じ高島の魅力を伝える活動をされています。コンテストでは、「笑湖ツアー 命の水を巡る旅」と題する、高島ならではの自然と共存する暮らしの文化等を体験するツアーの企画が高く評価されました。(観光振興課)



琵琶湖周航の歌 講演会 今も歌い継がれる奇跡



2月24日(金)、「琵琶湖周航の歌」誕生100周年を前に、子どもたちに歌発祥のドラマを伝えようと、今津中学校1年生97人を対象に講演会が開かれました。講師の元NHKアナウンサーで琵琶湖周航の歌研究者の飯田 忠義さんは、「今津の旅館で小口 太郎が自作の詩を披露し、吉田 千秋が作曲した『ひつじぐさ』に乗せて、部員たちが歌ったのが始まりで、会ったことのない2人が作った詩と曲が今も歌い継がれているのは奇跡」と話されました。

最後に、みんなで琵琶湖周航の歌を歌い、歌誕生のドラマに思いを馳せました。(秘書広報課)

高島市から2人と1団体 滋賀県民スポーツ賞を受賞



2月17日(金)に滋賀県庁で平成28年度滋賀県民スポーツ顕彰・滋賀県民スポーツ賞の表彰式が行われ、高島市から次の方々を受賞されました。(市民スポーツ課) ※敬称略

賞	名前	種目等
一般の部 個人	内田 弦大 (関西大学 AS京都)	トライアスロン ジュニア男子
高校の部 個人	伊礼 遥 (安曇川高校)	ウエイトリフティング 高校の部 女子75kg級
中学の部 団体	今津銃剣道 スポーツ少年団	銃剣道 中学生の部 団体

警察・消防が合同で訓練 冬山救助訓練を実施

2月24日(金)、箱館山スキー場で高島警察署と高島市消防本部が合同で冬山救助訓練を行いました。今回の訓練目的は、冬山における捜索・救助・負傷者の搬送方法等の向上を図り、山岳遭難事故発生時に迅速かつ確実に対応するためです。

訓練は、基本の救出方法等の確認後、想定訓練を実施。警察と消防の合同で編成した活動隊で訓練することにより連携強化が図られ、今後の活動に生かせる実のある訓練となりました。(警防課)

